

第4回研究会

湖北地方でフットパスを作成するための基礎資料

龍谷大学非常勤講師・里山学研究センター研究協力者・琵琶湖ラムサール研究会
須川 恒

2013年5月23日に里山学研究センターの研究会でフットパスについて講演を聞く会があった。私はこの会には参加できなかったが、研究会の前に谷垣岳人さんらと学生実習に使っている伏見稲荷神社の森を、フットパス活動をしているNPOみどりのゆびの神谷由紀子さんと、英国のSheila Talbotさんらに、実習でつかっている地図を示して案内した。また8月に東京へ行く機会があり8月17日にNPOみどりのゆびの活動拠点である町田市を訪問し、神谷さんらに小野路のフットパスを案内していただいた。フットパスは私なりの理解では、地域にある自然・文化・歴史などの資源を可視化する活動だと思う。フットパスの活動では、さまざまな地域資源の存在に地域の人々や訪問者が理解できる出版物としての地図、道標や案内板、そして地域資源をささえている地域の人々と訪問者の交流の場をつくるしかけが欠かせない。里山学研究センターの合宿をした琵琶湖水鳥・湿地センター/湖北野鳥センターがある湖北地方には、水鳥や湿地の生き物だけでなく文化や歴史にかかわるさまざまな地域資源がある。それらの地域資源を可視化するためにはフットパスのような活動が必要である。以下は、9月の合宿時の視察情報などもふまえて、湖北地方のさまざまな地域資源にかかわる情報、特にウェブサイトがある情報をまとめている。10月に日本鳥類標識協会全国大会が琵琶湖水鳥湿地センターで開催され、大会終了後に希望者が湖北地方と敦賀市中池見湿地（2012年にラムサール条約湿地として登録された湿地）を訪問するツアーがあった。湖北地方について参加者はこの資料を使って自分の希望にしたがってさまざまな訪問を行った。このような地図とウェブサイト情報からなる情報集は、湖北地方におけるフットパス活動を検討する際の基礎資料となる。同じような作業は、どのような地域であっても可能と思われる。

1) 湖北の情報 2) 湖北広域情報 3) 敦賀市中池見湿地の情報（概略のみ）

フットパスは歩く人を前提としているが、あちこちに駐車できる場所は多いので車を利用する人を主に想定している。昼食は、道の駅湖北水鳥ステーションが利用できる。

野鳥観察をするならば、①湖北水鳥湿地センターを中心として、今西・尾上の湖岸・尾上漁港・野田沼周辺の探索、②車を使って南へ約3キロ（駐車場あり）、奥の洲・早崎ビオトープ水田（北半分）を探索（徒歩の人はセンターまで湖岸を戻ってくる）、③南浜（地図2）参照の西奥に車をとめて姉川河口付近を探索。詳しい探鳥情報はセンターのスタッフに聞くことができる。



図1

②の展開として小江神社などでこの地域の「自墳井」をごらんいただくことを勧める。

「探検」ならば、西野水道（トンネル）の探検（江戸時代の狭い隧道を通して湖岸に出る）は興味深い（地図1）。入り口にヘルメット、長靴、ライトが置いてある、しっかりしたライトの持参を勧める。

「観光」ならば、長浜市街地「黒壁スクエア」訪問はお勧め。適当な駐車場は市内にいろいろあるので、スタッフに聞いて欲しい。観光案内所で市内の観光地図が入手できる。黒壁スクエアを中心に見所がたくさんある。

湖北の歴史的遺産や文化財、その施設や建物を訪問するコースもいろいろとある。雨森芳州庵→伊部の本陣→西池→国友鉄砲の里資料館といったコースはいかがだろうか。

1) 湖北の情報

湖北野鳥センター / 琵琶湖水鳥湿地センター

湖北探鳥のメッカ・湿地保全情報も充実センターのWeb

<http://www.biwa.ne.jp/~nio/index.html>

世界湿地の日2011 in 湖北の活動として来日中のカムチャツカの鳥類学者ゲラシモフ親子も参加した行事の報告は以下

<http://homepage2.nifty.com/Larus/WWD2011inKOHOKU.htm>

道の駅湖北水鳥ステーション

レストラン、昼食弁当、湖魚のつくだに/フナズシなどお土産物も多彩

湖北水鳥ステーションのサイト <http://www.mizudori-st.co.jp/index.php>

湖北町尾上・今西周辺の4つの宿

尾上荘、舟荘、うを吉、紅鮎（隣接している料理旅館）

琵琶湖のおいしい湖魚料理あれこれ

<http://www.pref.shiga.lg.jp/g/suisan/kogyo-chourihou/oisii-kogyoryouri2.html>

魚友商店のアユのなれ鮎

http://www.biwa-oumi.com/ayu_zushi/

けっこう高価だが、手間の必要なつくりかたを読むと、買えるならばと思ってしまう

http://www.geocities.jp/sekihara_f/h-narezusi.html

尾上漁港 朝日漁協の基地。かつてこの一帯は朝日村だった。

湖上タクシー（要予約）の出発漁港

<http://www.bbc-tv.co.jp/biwakuru/kojyou/kojyoutaxi.html>

<http://homepage2.nifty.com/Larus/WWD2012inKOHOKU.htm>

世界湿地の日2012in湖北の活動として湖上タクシーにのった報告を掲載している

魚のゆりかご水田

琵琶湖湖岸のあちこちで淡水魚のためになる水田がつくられている。野田沼南にもあり説明の看板がある。かつてあった湖と水田のつながりを復活するためのしかけ。排水路を堰あげすることで水田の排水の管とがつながり、琵琶湖の淡水魚が水田に入り込んで産卵場として利用（外来魚の被害を受けない）。

滋賀県ゆりかご水田プロジェクトサイト

<http://www.pref.shiga.lg.jp/g/noson/fish-cradle/>

奥の洲

湖北野鳥センターからこのあたりの湖岸約3kmが湖北水鳥公園。遠浅で水草が多く、琵琶湖湖岸で一番多く水鳥が集結する。

奥の洲付近の小さな島かげにはオオヒシクイもよくみられる。道の東側に駐車場あり。

この駐車場に車をとめて徒歩で以下の早崎ビオトープ水田の北側半分、海老江の小江神社を散策すればどうか。

<http://www.city.nagahama.shiga.jp/index.cfm/6,14688,17,143,html?20110113210724765>

早崎ビオトープ水田

かつてあった早崎湖（内湖）の復元をめざしておこなわれている。

<http://www.ex.biwa.ne.jp/~hayazaki/>

小江神社東側の自墳井は水量豊富。南側の朝日教会は近江八幡市ヴォーリス設計事務所が設計したとのこと。

小江神社<http://ptarmigan485.seesaa.net/article/310233491.html>

朝日教会について書かれた論文

<https://www.dropbox.com/s/nhnowu3b37h7v87/Saikou1986.pdf>

自噴井とは何か？ 地下水の圧力が高く、数十mのパイプを通して清冽な水が沸いてくる。

小江神社、朝日教会の庭にもある。延勝寺にも多い。しかしこのあたりより北の尾上・今西付近では自噴井はできない。

湖北の自噴井についての詳しい報告書

http://www.biwakokasen.go.jp/others/specialistconference/atwg/pdf2/mat7-1_taka_udrgdwtrcdtn.pdf

富田人形会館 江戸時代から続く人形浄瑠璃の活動拠点。国際交流の多彩さに驚く。

<http://www.ayaha.co.jp/spe-b41.htm> 富田人形共遊団団長 阿部 秀彦さんを訪ねて
西野トンネル（水道、近江の青の洞門！） 江戸時代のトンネルは探検場所として面白い。
長靴、ヘルメット、ライトが必要。

<http://blog.goo.ne.jp/yamaski2590/e/4c7aeded9addb152cc025ed8fb0e3309>

東阿閉（あつじ） ヤンマーの創始者山岡孫吉の出身村。山岡氏が寄贈したドイツ風の公会堂あり。

<http://www.city.nagahama.shiga.jp/index.cfm/6,14771,17,143,html?20110114145302875>

山本山城跡 平安時代から戦国時代にかけて山本山には城があった。

http://www.biwa.ne.jp/~kohoku-s/chiiki/kank_yamomoto.htm

冬になると西斜面にオオワシが渡来して休息地となり多くの観察者がやってくる。

その時期になると湖北野鳥センターの東側の窓から望遠鏡でとまっているオオワシを見ることができる。

<http://oowashi.blog.eonet.jp/default/cat3470656/>



2) 湖北広域情報

長浜市観光

黒壁 <http://www.kurokabe.co.jp/>

毎年4月15～16日の曳山祭り（子供歌舞伎）はすごい！

http://www.biwako-visitors.jp/search/event_182.html

曳山博物館 <http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

雨森 東アジア交流館雨森芳州（あめのもり ほうしゅう）庵

<http://www5.ocn.ne.jp/~housyu/housyu/>

江戸時代に国際感覚を持って、朝鮮と日本の交流に尽くした人物。

渡岸寺（どうがんじ）十一面観音が有名

<http://achikochitazusaete.web.fc2.com/ouminotera/douganji/kannon.html>

西池 http://kitabiwako.jp/spot/spot_2281/

オオヒシクイが渡来する池。以前ほどは来なくなっている。西側に小谷城跡がある。

小谷城跡 <http://www.biwako-visitors.jp/search/spot.php?id=898>

戦国歴史資料館 <http://www.eonet.ne.jp/~odanijou-s/>

伊部 旧本陣跡 <http://matinami.o.oo7.jp/kinkil/nagahama-kohoku-ibe.html>

国友 国友鉄砲の里資料館 <http://www.kunitomo-teppo.jp/>

姉川河口 南浜から河口へ 探鳥地ポイントの一つ

河口近くに築（遡上するアユを捕獲するしかけ）がある。

<http://f26.aaacafe.ne.jp/~tingyo/anegawayana/Resized/anegawa030525.html>

3) 敦賀市中池見湿地情報（概略）

琵琶湖水鳥湿地センターからは湖岸道路北上8号線または北陸自動車道利用で中池見湿地へ
中池見湿地に関する情報

吉田一朗（2003年標識協会大会シンポジウム講演要旨）

敦賀市中池見湿地の保護と標識調査

<http://www.mitene.or.jp/~ara-him3/hokurikutaikai/nakaikemi.html>

中池見湿地人と自然のふれあいの里

<http://www.city.tsuruga.lg.jp/sypher/www/section/detail.jsp?id=294>

オープンは9：00～

中池見湿地の新幹線通過問題

日本自然保護協会 <http://www.nacsj.or.jp/katsudo/nakaikemi/2012/11/post-4.html>

ラムネットJ <http://www.ramnet-j.org/2013/04/information/1691.html>

